



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 16 日

1. 出張国名 マレーシア
2. 出張月 平成 26 年 9 月
3. 出張目的 プランクトンモニタリングに向けたハイガイ養殖漁場の基礎調査と
研究打合せ：C

4. 成果の概要

本プロジェクトでは、東南アジアの主要養殖種であり、マングローブ域において重要な生態的地位を占めるハイガイの持続的生産を達成するため、対象海域に適した生態系モデルを作製し同漁場の環境収容量を評価する。

また、同モデルを基に漁場に最適な漁業管理手法を導き出すとともに、これらの結果を地域レベルの漁業管理に反映させることを主目的としている。

出張者の分担する課題では、ハイガイ養殖漁場の漁業管理実現の一環として、漁場に発生し、ハイガイの餌料となる植物プランクトンのモニタリング体制の構築を目指す。本出張では、それに関わる情報を現地研究者から集めるとともに今後の研究展開を打合せた。

また、乾季から雨季への移行期にけるハイガイ養殖漁場周辺海域の植物プランクトンの発生状況を明らかにするため、4 調査点にて試料採集調査を実施し、直ちに顕微鏡観察および写真撮影した。これらの資料は同海域に頻出する植物プランクトン同定の手引きとなるよう、整理する予定である。

また、出張期間に半島東岸の Marine Fishery Resources Development and Management Department (SEAFDEC) とマラヤ大学臨海実験所を訪問し、マレーシア周辺での漁場環境に関わる調査研究や赤潮発生状況について情報収集するとともに研究打ち合わせを行った。